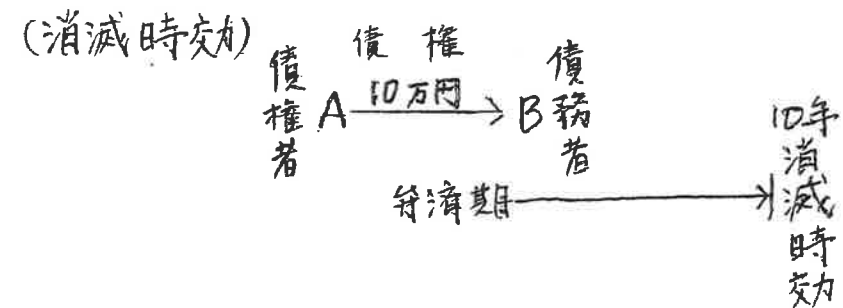
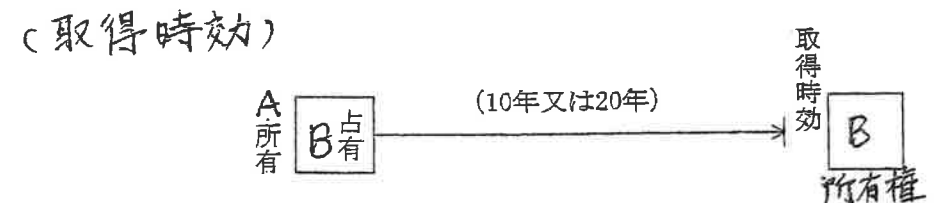
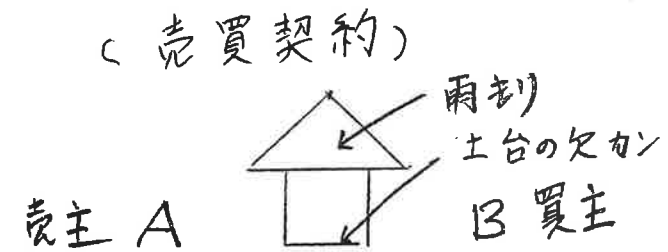
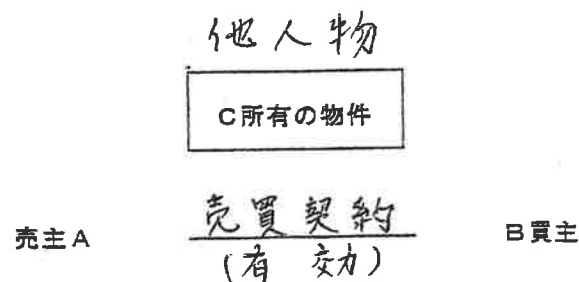
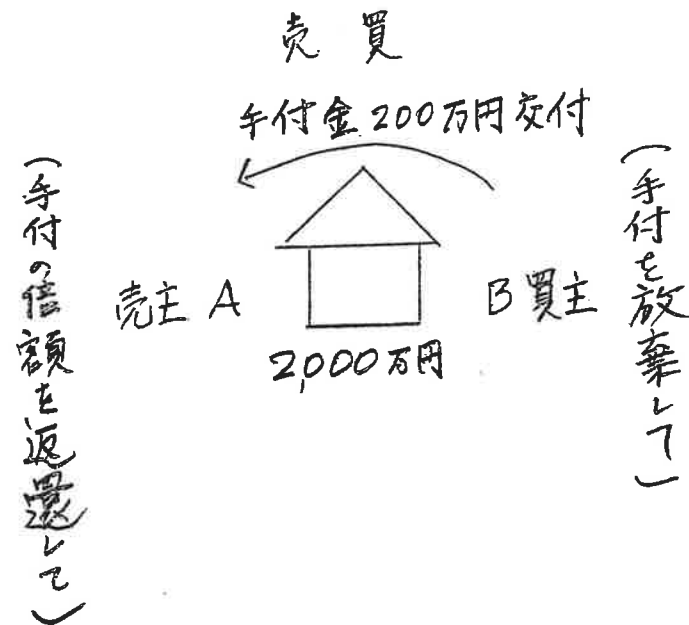
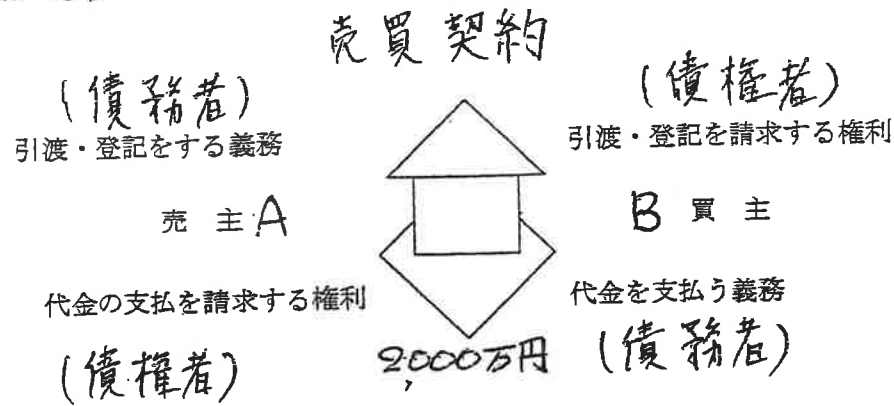
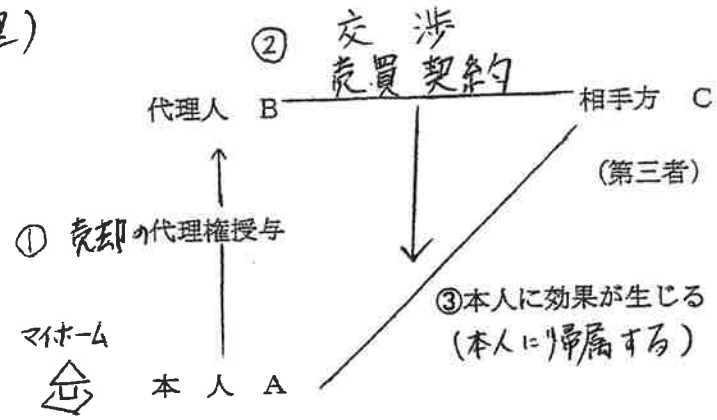


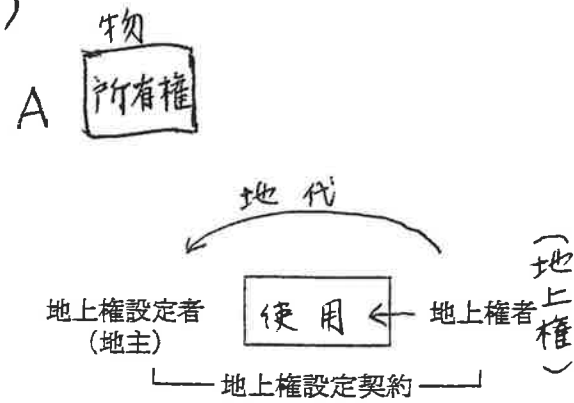
<板書レジュメ>



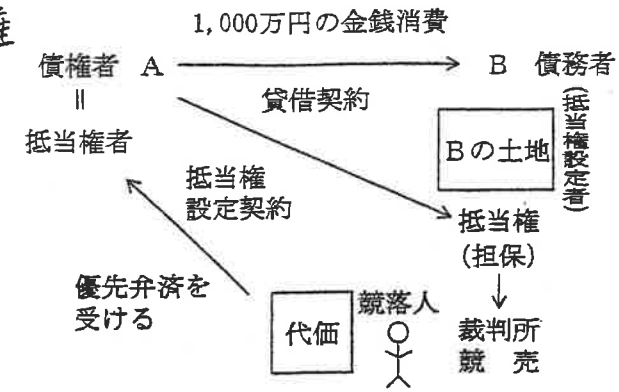
(代理)



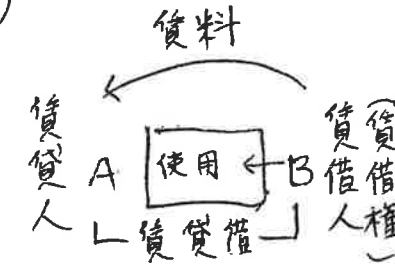
(物権)



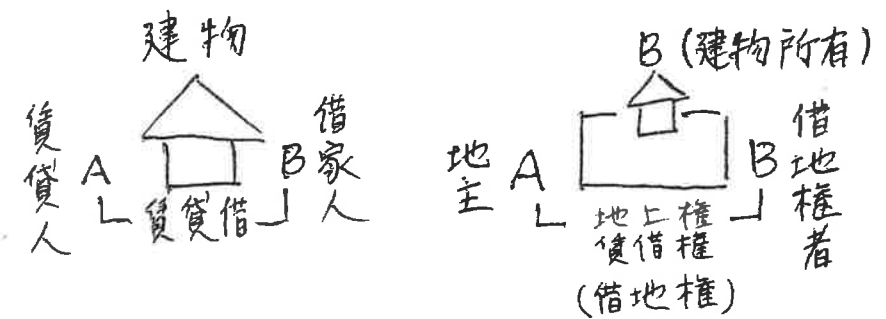
抵当権



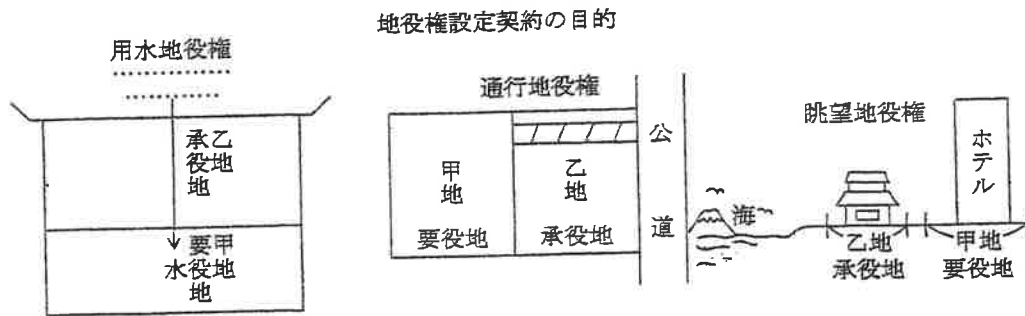
(賃貸借)



(借地借家法)

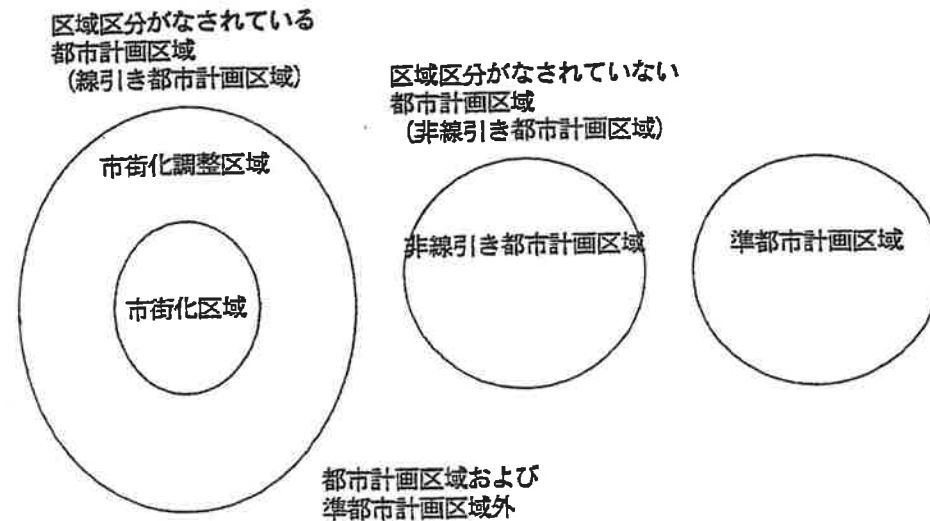


地役権

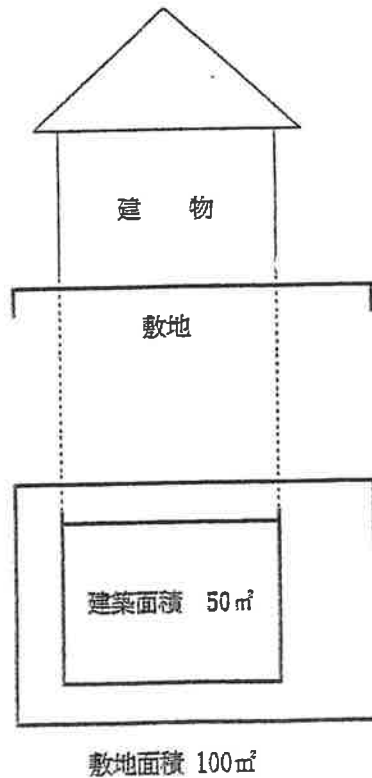


(法令上の制限)

●都市計画区域と準都市計画区域



けんぺいりつ
(建ぺい率)



$$\text{建ぺい率} = \frac{\text{建築面積}}{\text{敷地面積}}$$

※ たとえば、敷地(100 m²)の建ぺい率が $\frac{5}{10}$ とすると、敷地の1階部分の最大の面積(建築面積は50 m²ということになります。

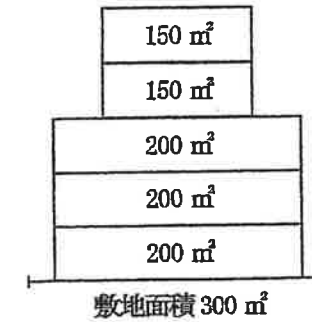
$$100 \text{ m}^2 \times \frac{5}{10} = 50 \text{ m}^2$$

(容積率)

$$\text{容積率} = \frac{\text{延べ床面積}}{\text{敷地面積}}$$

延べ面積とは、建築物の各階の床面積の合計をいう。

- たとえば、容積率が $\frac{30}{10}$ (300%)の敷地に建物を建てる場合

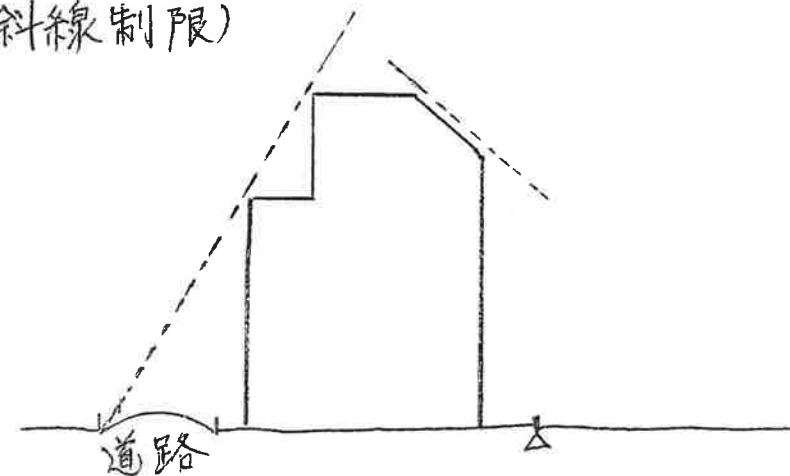


敷地面積が300 m²であれば

$$300 \text{ m}^2 \times \frac{30}{10} = 900 \text{ m}^2 \text{ (延面積の限度)}$$

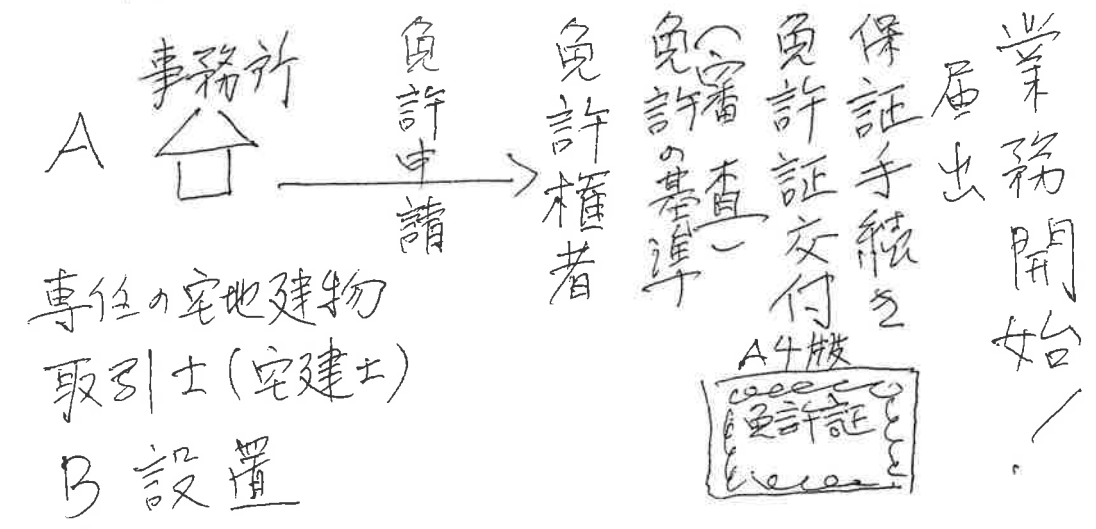
敷地面積の3倍の床がとれる。

(斜線制限)

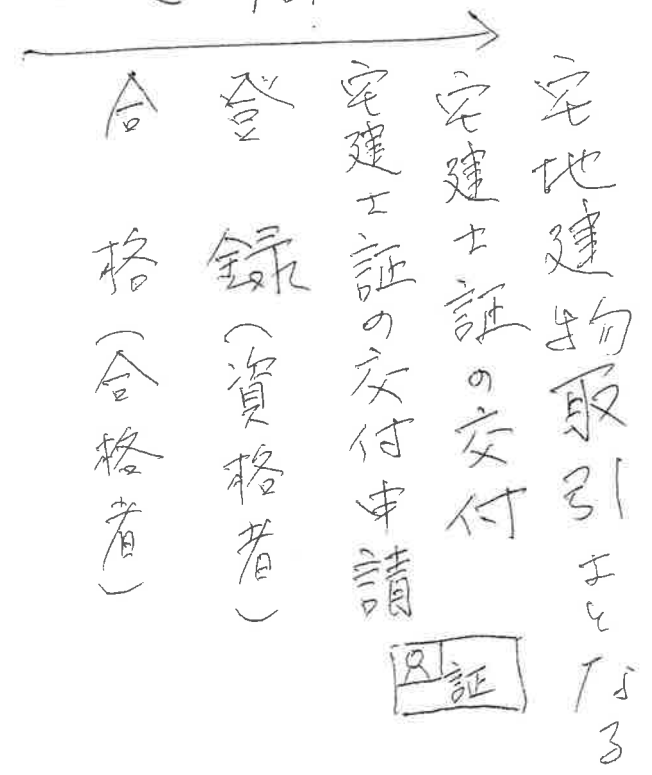


宅地建物取引業法(宅建業法)

<宅建業者になるためには>



<宅地建物取引士になるには> ※業務独占資格(最強)



宅建士でなければ
できない法律上の
事務(3つ)

- ・重要事項の説明
- ・重要事項説明書への記名押印
- ・契約内容記載書面への記名押印